２０２７年度

入学準備学習プログラム

本学では、みなさんが進学する学部での「学び」をスムーズに始められるよう、すべての学部で入学準備学習プログラムを実施（※）しています。本学での学修をスムーズにスタートできるよう、このプログラムにしっかり取り組みましょう。

※アクティブ・ラーニング入試、グローバル人材入試、商業系科目入試、情報・商業系資格重視入試、自己推薦入試（前期・中期）、指定種目スポーツ入試（前期・中期）、指定校推薦入試の合格者が対象となります。

目次

実施概要

入学準備学習とは？ ・・・・・・・・・・ 1

実施方法

入学準備学習プログラムの実施方法 ・・ 2

受講生情報登録・受講料入金の手順 ・・ 3

実施内容

経済学部 ・・・・・・・・・・・・・・・ 4

現代社会学部 ・・・・・・・・・・・・・ 6

商学部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

経営学部 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

法学部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

外国語学部 ・・・・・・・・・・・・・・ 14

国際文化学部 ・・・・・・・・・・・・・ 16

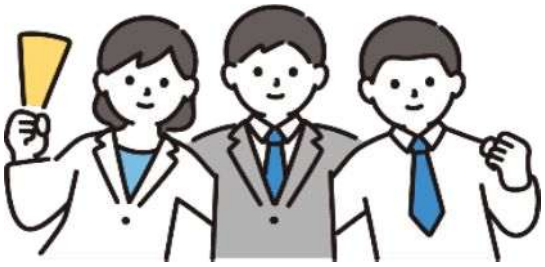
スポーツ健康学部 ・・・・・・・・・・・ 18

リハビリテーション学部 ・・・・・・・ 20

その他

受講者の声 ・・・・・・・・・・・・ 裏表紙

各種お問い合わせ先 ・・・・・・・ 裏表紙



名古屋学院大学

入学準備学習とは？

アクティブ・ラーニング入試、グローバル人材入試、商業系科目入試、情報・商業系資格重視入試、自己推薦入試（前期）、強化クラブスポーツ推薦入試（前期・中期）、指定校推薦入試の合格者は全員、入学準備学習（東進ハイスクール通信添削講座）に取り組む必要があります。

みなさんは大学での学びに不安はないですか？

大学では、資料を読み、論旨を理解し、自分の意見を表現する学習機会が増えます。レポートや論文として文章で、プレゼンテーションにおいて口頭で発表・報告する課題もあります。高校までの学びと最も異なる内容を本学の「入学準備学習プログラム」で扱います。全学部とも高大接続で重視される「学力の３要素」のうち、思考力・判断力・表現力を養うものです。本プログラムに取り組めば、大学での学びの不安は充分に払拭できます。また、自らが主体的に学習計画を遂行できるマネジメント能力も必要です。提出課題は期限に遅れることなく進め、プログラムを完遂させましょう。

＼ プログラムのここが特徴 ／

Point 1　わかりやすい映像授業

どのようにまとめ、表現すればよいのかを講師が映像で丁寧に解説します。不明な点が「わかる」ようになり、文章での表現力を養います。

Point 2　ひとりひとりへ丁寧な添削

提出課題を丁寧に添削した後、返却します。デジタル添削で要点を明示しているので、しっかり復習をして自分の弱点を克服しましょう。

Point 3　個別サポート体制

学習計画を順調に進めるため、定期的に電話やSMSで学習状況を確認します。最後までプログラムを達成できるよう個別のフォローをします。

入学準備学習プログラムの実施方法

受講登録・入金を完了された方に、教材をお送りします。教材一式（テキスト・課題）がご自宅に届いたら、受講マニュアルを確認の上、学習を開始し、定められた期限までに課題を提出してください。授業は WEB 受講（パソコン・スマートフォンでの受講）に対応しています。WEB 受講に必要な ID などは、教材と合わせてご自宅へお届けいたします。

その①
登録・入金

3 ページの「受講生情報登録・受講料入金の手順について」を確認しながら、期日までに登録・入金してください。

その②
受取

教材を受取後、受講マニュアルを確認しながら、学習システムにログインしてください。

その③
映像授業

東進ハイスクールの一流講師による分かりやすい映像授業を自宅で受講します。自分の予定に合わせ都合の良いときに学習ができます。分からないところは何度も繰り返し見直しましょう。

その④
確認テスト

理解ができたかどうかを確認するため、「確認テスト（課題）」に取り組み、スマートフォンを利用して答案の画像を提出します。提出スケジュールが組まれているので遅れないようにしましょう。

その⑤
復習

提出していただいた「確認テスト」は東進ハイスクールで採点・添削します。採点後の答案をデータで返却しますので、間違えたところはもう一度映像授業を見直しながら復習し、着実に自分のものにしていきましょう。

その⑥
サポート

最後まで順調に進められるように、メンタリング（激励や助言）を実施します。学習に関するご相談があればアドバイスします。「株式会社ナガセ」の担当者から電話が入りますので積極的に活用しましょう。

その⑦
修了証

全ての課題を遅延なく提出し、かつ優秀な成績を獲得した受講者には、大学より修了証をお渡しします。なお、課題が十分に達成できない場合、入学準備の特別補習を受講してもらうことがあります。

見本



映像授業は入学後も視聴できます（2028 年 3 月 31 日まで）。
大学の授業でわからないことがあったときなどに活用しましょう。

受講生情報登録・受講料入金の手順について

１．QR をスマートフォン等で読み取り、以下のＳｔｅｐにしたがって登録を進めてください。
２．QR を読み取る際、期区分を間違えないようにご注意ください。※期区分の変更はできません。
３．各期区分の締切に遅れた方は、次の期区分の QR を読み取って登録してください。

Ｓｔｅｐ１　メールアドレスの入力

学部ごとの QR より専用フォームへアクセス後、メールアドレス等を入力し
アカウント本登録を行います。

Ｓｔｅｐ２　個人・受講情報の入力

「講座一覧」画面より講座を選択して、受講内容・受講料を確認してください。

Ｓｔｅｐ３　受講料のお支払い

登録した受講内容の受講料のお支払い手続きを行ってください。
（決済専用サイトに遷移しますので、画面の案内に従ってください）
お支払い完了後、メールをお送りいたしますので、内容をご確認ください。

【受講生登録用ＱＲと締切・教材発送日】

期区分	登録対象	受講生情報登録締切	教材発送予定日	受講生情報登録 QR
Ⅰ期	アクティブ・ラーニング入試 グローバル人材入試 商業系科目入試 情報・商業系資格重視入試 自己推薦入試（前期）	１１月１５日（日）	１１月２７日（金）	ＱＲは学部ごとにあります。 各学部のページに掲載されているＱＲから登録してください。
Ⅱ期	指定校推薦入試 強化クラブスポーツ推薦入試（前期） ※Ⅰ期の登録に遅れた方は、入試区分に関係なく、Ⅱ期で登録してください。	１２月１５日（火）	１２月２８日（月）	
Ⅲ期	強化クラブスポーツ推薦入試（中期） ※Ⅱ期の登録に遅れた方は、入試区分に関係なく、Ⅲ期で登録してください。	１２月２６日（土）	１月１２日（火）	

※**入学準備学習プログラムは必須課題です。**締切までに受講生情報の登録がなかった方は、出願時の情報に基づいて、**１月１９日（火）頃**教材を発送します。その際の受講料は、教材お受取り時に『代引き』でお支払いただきます。代金は教材到着の際、配達員へお渡しください。
※QR の読み間違いによる期区分の変更はできません。正しく登録できているか必ずご確認ください。

経済学部　入学準備学習プログラム

経済学部では、大学での学修に必要な数学力を高めてもらうために、入学までの期間を利用して「入学準備学習プログラム」を実施しています。

このプログラムは、指示された映像教材（12講）やテキストを自宅で学習し、毎回（講）の課題を提出して添削を受け、経済学の学びにおいて求められる数学の概念について、分かりやすい映像授業でゼロから学び、豊富な演習を通して完全修得度を目指します。同時に、期日までに課題を仕上げるという学習習慣の確立を目指します。このプログラムのスケジュールを確認し、計画的に学習を進めてください。

経済学では、経済の変化を数値で表すことがほとんどです。数学力は授業だけでなく、学部必須である卒業論文の作成にも大いに役立ちます。

合格者のみなさんは、必ず「入学準備学習プログラム」を受講し、積極的に取り組むようお願いいたします。

プログラムについて

● スケジュール

	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期
入試区分	アクティブ・ラーニング入試 自己推薦入試（前期）	指定校推薦入試 強化クラブスポーツ 推薦入試（前期）	強化クラブスポーツ 推薦入試（中期）
合格発表	11/ 1（日）	12/ 1（火）	12/18（金）
受講生情報登録締切	11/15（日）	12/15（火）	12/26（土）
教材発送予定日※1	11/27（金）	12/28（月）	1/12（火）
学習開始	12/ 2（水）	1/ 4（月）	1/17（日）
登録 QR※2			

※1　住所の入力は、教材を受け取ることができる住所をご入力ください。
受け取ることができない場合、転送手続きを行うため再発送まで時間を要します。

※2　3ページの「受講生情報登録・受講料入金の手順について」を確認しながら、期日までに登録・入金してください。QR の読み間違いによる期区分の変更はできません。正しく登録できているかご確認ください。

● 課題内容に関するお問い合わせ先

株式会社ナガセ（東進ハイスクール）入学前教育センター

QR・URL からチャットボットにてお問い合わせください。

https://app.chatplus.jp/chat/visitor/785dcdc6_1?t=btn

■通信添削講座　カリキュラム（全 12 講）

「経済学への数学入門」

90 分の映像授業（12 回）と確認テスト（12 回）で構成されています。確認テストは採点後に返却されますので、答案を基に復習します。授業についても反復して視聴できますので、分からない内容は繰り返し受講することで、内容を完全に修得できるように活用することができます。

#01	「基礎計算力」を駆使して考える	#07	「統計」を活用する①
#02	「連立方程式」を上手に用いる	#08	「統計」を活用する②
#03	「一次関数」を応用する	#09	「数列」を用いて計算する
#04	「二次関数」を利用する	#10	「行列・ベクトル」を理解する
#05	「指数関数・対数関数」を捉えなおす	#11	「微分」を有効活用する①
#06	「確率」を使って考える	#12	「微分」を有効活用する②

■推薦図書リスト

1. 『16 歳からのはじめてのゲーム理論』鎌田雄一郎、ダイヤモンド社、2020 年
2. 『最後通牒ゲームの謎』小林佳世子、日本評論社、2021 年
3. 『FACTFULNESS（ファクトフルネス）』ハンス・ロスリング他、上杉周作・関美和（翻訳）、日経 BP、2019 年
4. 『現代経済学の直観的方法』長沼伸一郎、講談社、2020 年
5. 『フィンランド人はなぜ午後４時に仕事が終わるのか』堀内都喜子、ポプラ社、2020 年
6. 『同志少女よ、敵を撃て』逢坂冬馬、早川書房、2021 年
7. 『独ソ戦 絶滅戦争の惨禍』大木毅、岩波新書、2019 年
8. 『経済学者の頭の中』大竹文雄　ちくまプリマー新書、2025 年
9. 『就職氷河期世代』近藤絢子　中公新書　2024 年
10. 『物価を考える』渡辺努　日本経済新聞出版　2024 年

入学前の時間を使い、上記リストにある図書を、１冊でも２冊でもよいので、読んでみてください。

経済学はみなさんから遠いところにある学問ではありません。本当に身近なところに、今みなさんがこの冊子を読んでいるすぐそばにも研究すべき対象があるのです。

また、大学に入学すれば、自分の考えを持ち、自分の言葉で周りの人々に伝える機会が増えてきます。そのためには、物事の多様な見方を知っておくことが必要です。一見何に役立つのかわからない教養知識が役立つものです。

現代社会学部　入学準備学習プログラム

現代社会学部では、早期に本学への入学を決められた皆さんに対して「入学準備学習プログラム」を実施しています。これは、本学入学までの期間を利用して大学での学修に必要な基礎的能力を再確認し、身につけるとともに、現代社会学部での学び方に慣れるためのプログラムですので、必ず受講してください。

このプログラムは、通信添削課題で構成されています。通信添削講座には、読解力・文章力・批判力という3つの要素が組み込まれています。レポートを作成するには、この3つの要素は欠かせません。現代社会学部では、基礎となる経済学、社会学、心理学、法学や都市・地域などの調査に関する授業が行われており、各授業で上記3つの要素が必要になります。学部教育で行われる社会調査などでは、調査結果を表やグラフとしてまとめるだけでなく、それらを文章化するための表現力も大切です。

大学では、自主的に多くの文献を読みこなし、社会で見落とされている問題の発見へとつなげ、それらを分析することが求められます。このプログラムは、現代社会に関わりのある内容を映像授業から自主的に学び、課題提出をするものです。

入学までの期間に下記の入学準備学習プログラムで自習することで、その後、充実した大学生活を送ることができるようにしましょう。

プログラムについて

● スケジュール

	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期
入試区分	アクティブ・ラーニング入試 自己推薦入試（前期）	指定校推薦入試 強化クラブスポーツ 推薦入試（前期）	強化クラブスポーツ 推薦入試（中期）
合格発表	11/ 1（日）	12/ 1（火）	12/18（金）
受講生情報登録締切	11/15（日）	12/15（火）	12/26（土）
教材発送予定日※1	11/27（金）	12/28（月）	1/12（火）
学習開始	12/ 2（水）	1/ 4（月）	1/17（日）
登録 QR※2			

※1　住所の入力は、教材を受け取ることができる住所をご入力ください。
　　受け取ることができない場合、転送手続きを行うため再発送まで時間を要します。

※2　3ページの「受講生情報登録・受講料入金の手順について」を確認しながら、期日までに登録・入金してください。QR の読み間違いによる期区分の変更はできません。正しく登録できているかご確認ください。

● 課題内容に関するお問い合わせ先

株式会社ナガセ（東進ハイスクール）入学前教育センター

QR・URL からチャットボットにてお問い合わせください。
https://app.chatplus.jp/chat/visitor/785dcdc6_1?t=btn

■通信添削講座　カリキュラム（全 10 講）
「大学生の学び方講座」（ベーシック国語②・国語標準ミックス）

90 分の映像授業（10 回）と課題提出（10 回、うち小論文添削課題２回）で構成されています。

※「ベーシック国語②」「国語標準（要約編）」という２つの教材から、本学が指定した下記の 10 単元の課題に取り組みます。ただし、指定していない単元の授業も視聴することができますので、教材に含まれるすべての授業を積極的に自習していただくことを期待します。

#01	デジタル時代にふさわしい 言葉力をつける	#06	情報時代の要約術
#02	ことばを自分のものにする	#07	複眼的に思考するための読書
#03	社会を見つめる目をもつ ～新聞の読み方	#08	むずかしい本を読む方法 （文章要約）
#04	将来の夢について考える 【小論文添削課題１】	#09	常識を批判する力を養う （表・グラフ要約）
#05	作文とレポート	#10	働くことの一番底にあるもの 【小論文添削課題２】

■推薦図書リスト

1. 『社会科学における人間』大塚久雄、岩波新書、1977 年
2. 『経済学に何ができるか－文明社会の制度的枠組み』猪木武徳、中公新書、2012 年
3. 『社会とどうかかわるか－公共哲学からのヒント』山脇直司、岩波ジュニア新書、2008 年
4. 『人口減少社会という希望』広井良典、朝日新聞出版、2013 年
5. 『学習設計マニュアル―「おとな」になるためのインストラクショナルデザイン』鈴木克明・美馬のゆり（編著）、北大路書房、2018 年
6. 『現代政治学入門』バーナード・クリック、添谷育志・金田耕一（翻訳）、講談社学術文庫、2003 年
7. 『日本の歴史をよみなおす（全）』網野善彦、ちくま学芸文庫、2005 年
8. 『才能の科学』マシュー・サイド、 山形浩生・守岡桜（翻訳）、河出書房新社、2022 年

本を読むこと、さまざまな文章に触れることも、現代社会への大切なアプローチです。コミュニケーションの力を高める基礎となります。また、読書は、イマジネーションの力で私たちを多様な世界へと誘ってくれて、仮想体験を通じて人生を豊かにしてくれます。自由時間のたっぷりあるこの時期に、そして社会に出る前に、「読書する力」をしっかりと身につけておきましょう。

商学部　入学準備学習プログラム

商学部では、大学での学修に必要な文章読解力・要約力を一層高めていただくために、入学までの期間において「入学準備学習プログラム」を実施しています。この入学準備学習プログラムは、指示された映像教材（10講）やテキストを自宅で学習し、毎回（講）課題を提出して添削を受け、読解力および要約力を確認し、文章（書籍）を正確に理解する基礎的な能力を高めることを目指します。

商学部で学ぶ上で、ビジネスに関連する書籍から、経営者による実践や研究者による調査研究をつうじて獲得された知見に裏付けられたビジネスの理論を読み取り、実践につなげることが大切な学習の一つになります。読解力の養成は、こうした学習に不可欠です。

商学部での学修をより一層実りあるものにするために、合格者の皆様におかれましては、必ず入学準備学習に取り組むようにお願いします。

プログラムについて

● スケジュール

	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期
入試区分	商業系科目入試 情報・商業系資格重視入試 自己推薦入試（前期）	指定校推薦入試 強化クラブスポーツ 推薦入試（前期）	強化クラブスポーツ 推薦入試（中期）
合格発表	11/ 1（日）	12/ 1（火）	12/18（金）
受講生情報登録締切	11/15（日）	12/15（火）	12/26（土）
教材発送予定日※1	11/27（金）	12/28（月）	1/12（火）
学習開始	12/ 2（水）	1/ 4（月）	1/17（日）
登録 QR※2			

※1　住所の入力は、教材を受け取ることができる住所をご入力ください。
　　受け取ることができない場合、転送手続きを行うため再発送まで時間を要します。

※2　3ページの「受講生情報登録・受講料入金の手順について」を確認しながら、期日までに登録・入金してください。QRの読み間違いによる期区分の変更はできません。正しく登録できているかご確認ください。

● 課題内容に関するお問い合わせ先

株式会社ナガセ（東進ハイスクール）入学前教育センター

QR・URLからチャットボットにてお問い合わせください。
https://app.chatplus.jp/chat/visitor/785dcdc6_1?t=btn

■通信添削講座　カリキュラム（全 10 講）

「大学生の学び方講座」（ベーシック国語②・国語標準ミックス）

90 分の映像授業（10 回）と課題提出（10 回、うち小論文添削課題２回）で構成されています。

※「ベーシック国語②」「国語標準（要約編）」という２つの教材から、本学が指定した下記の 10 単元の課題に取り組みます。ただし、指定していない単元の授業も視聴することができますので、教材に含まれるすべての授業を積極的に自習していただくことを期待します。

#01	デジタル時代にふさわしい 言葉力をつける	#06	情報時代の要約術
#02	ことばを自分のものにする	#07	複眼的に思考するための読書
#03	社会を見つめる目をもつ ～新聞の読み方	#08	むずかしい本を読む方法 （文章要約）
#04	将来の夢について考える 【小論文添削課題１】	#09	常識を批判する力を養う （表・グラフ要約）
#05	作文とレポート	#10	働くことの一番底にあるもの 【小論文添削課題２】

■推薦図書リスト

1. 『アメーバ経営』稲盛和夫、日経ビジネス人文庫、2010 年
2. 『経営はロマンだ！』小倉昌男、日経ビジネス人文庫、2003 年
3. 『SHOE DOG(シュードッグ)』フィル・ナイト、大田黒奉之（翻訳）、東洋経済新報社、2017 年
4. 『the four GAFA 四騎士が創り変えた世界』スコット・ギャロウェイ、東洋経済新報社、2018 年
5. 『USJ を劇的に変えた、たった１つの考え方 成功を引き寄せるマーケティング入門』、森岡毅 KADOKAWA　2016 年
6. 『コンテナ物語 世界を変えたのは「箱」の発明だった 増補改訂版』マルク・レビンソン、村井章子(翻訳）日経 BP、2019 年
7. 『なぜアマゾンは「今日中」にモノが届くのか』林部健二、プチ・レトル、2017 年
8. 『会計のルールはこの３つしかない』石川 淳一、 松本 武洋、洋泉社、2008 年
9. 『会社の数字を科学する すっきりわかる財務・会計・投資』内山 力、PHP 研究所、2010 年
10. 『バーガーキング流「逆襲のマーケティング」』野村一裕、日経 BP、2026 年
11. 『NEXUS 情報の人類史　上・下』ユヴァル・ノア・ハラリ、河出書房新社、2025 年
12. 『世界を変えたブランド広告』杉山恒太郎、日経 BP・日本経済新聞出版、2022 年
13. 『世界の広告クリエイティブを読み解く』山本真郷・渡邉寧、宣伝会議、2023 年

入学にあたり、高校生の皆さんにお願いしたい事のひとつとしてほんの少しでも企業経営について触れる機会を持って欲しいと考えます。商学部では、実際に経営者の方にお話し頂く機会を設けていますが、その回数はそれほど多くありません。そこで、企業経営で成功した、あるいは失敗した経営者の書籍を読んでおくことで、大学での修学に活かしていただきたいと思います。上記に理解しやすい企業家や企業経営についての書籍を挙げましたので是非読んでみてください。

経営学部　入学準備学習プログラム

経営学部では、読解力・要約力・批判力、社会情勢やデータを把握する力など、入学後に必要な基礎的能力を再確認し身につけるために、入学までの期間を利用する「入学準備学習プログラム」を提供しています。

この入学準備学習プログラムの目的は、指示された映像教材（10講）やテキストを自宅で学習し、毎回（講）課題を提出して添削を受け、読解力および要約力を確認し、文章（書籍）やグラフなどを正確に理解する基礎的な能力を高めることです。同時に、期日までに課題を仕上げ提出するという学習習慣の確立を目指します。よって、プログラムのスケジュールを確認し、計画的に学習を進めてください。

入学準備学習プログラムは、経営学部での学びに慣れるためのプログラムでもあり、入学後の学修をより円滑に進めることに繋がります。経営学部での学修をより一層実りあるものにするために、合格者の皆様におかれましては、必ず入学準備学習プログラムに取り組むようにお願いします。

プログラムについて

● スケジュール

	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期
入試区分	商業系科目入試 情報・商業系資格重視入試 自己推薦入試（前期）	指定校推薦入試	Ⅰ期・Ⅱ期未申込者 対応用
合格発表	11/ 1（日）	12/ 1（火）	-
受講生情報登録締切	11/15（日）	12/15（火）	12/26（土）
教材発送予定日※1	11/27（金）	12/28（月）	1/12（火）
学習開始	12/ 2（水）	1/ 4（月）	1/17（日）
登録 QR※2			

※1　住所の入力は、教材を受け取ることができる住所をご入力ください。
　　受け取ることができない場合、転送手続きを行うため再発送まで時間を要します。

※2　3ページの「受講生情報登録・受講料入金の手順について」を確認しながら、期日までに登録・入金してください。QRの読み間違いによる期区分の変更はできません。正しく登録できているかご確認ください。

● 課題内容に関するお問い合わせ先

株式会社ナガセ（東進ハイスクール）入学前教育センター

QR・URLからチャットボットにてお問い合わせください。
https://app.chatplus.jp/chat/visitor/785dcdc6_1?t=btn

■通信添削講座　カリキュラム（全 10 講）

「大学生の学び方講座」（ベーシック国語②・国語標準ミックス）

90 分の映像授業（10 回）と課題提出（10 回、うち小論文添削課題２回）で構成されています。

※「ベーシック国語②」「国語標準（要約編）」という２つの教材から、本学が指定した下記の 10 単元の課題に取り組みます。ただし、指定していない単元の授業も視聴することができますので、教材に含まれるすべての授業を積極的に自習していただくことを期待します。

#01	デジタル時代にふさわしい 言葉力をつける	#06	情報時代の要約術
#02	ことばを自分のものにする	#07	複眼的に思考するための読書
#03	社会を見つめる目をもつ ～新聞の読み方	#08	むずかしい本を読む方法 （文章要約）
#04	将来の夢について考える 【小論文添削課題１】	#09	常識を批判する力を養う （表・グラフ要約）
#05	作文とレポート	#10	働くことの一番底にあるもの 【小論文添削課題２】

■推薦図書リスト

入学にあたり、合格者の皆さんにお願いしたい事の一つに、「少しでも企業経営について触れる機会を持って欲しい」ということがあります。経営学部では、大学での学びを実践で生かすことが出来る人に成長してもらうため、実際の企業データを活用した講義や、経営者から講演を聞く機会、企業や仲間と協働する Project などを提供します。企業の戦略や経営者の発想力などは書籍からも多くを学ぶことができます。読みやすく、理解しやすい書籍を挙げましたので是非読んでみてください。

1. 『ドリルを売るには穴を売れ』佐藤義典、青春出版社、2006 年
2. 『100 円のコーラを 1000 円で売る方法２』永井孝尚、KADOKAWA、2011 年
3. 『デパートを発明した夫婦』鹿島茂、講談社現代新書、1991 年
4. 『スターバックスはなぜ値下げもテレビ CM もしないのに強いブランドでいられるのか？』ジョン・ムーア(著)、花塚恵(翻訳)、ディスカヴァー・トゥエンティワン、2014 年
5. 『天才読書 世界一の富を築いたマスク、ベゾス、ゲイツが選ぶ 100 冊』山崎良兵、日経 BP、2022 年
6. 『コンテナ物語 世界を変えたのは「箱」の発明だった 増補改訂版』マルク・レビンソン、村井章子(翻訳) 日経 BP、2019 年
7. 『金持ちだけが持つ超発想』藤田田、KK ベストセラーズ、2019 年
8. 『ザ・ゴール ― 企業の究極の目的とは何か』エリヤフ・ゴールドラット，三本木亮(翻訳)、ダイヤモンド社、2001 年
9. 『数と計算の意味がわかる』野崎昭弘ほか、ベレ出版、2001 年
10. 『統計学が最強の学問である』西内啓、ダイヤモンド社、2013 年

法学部　入学準備学習プログラム

法学部では、大学での学修に必要となる基礎的な文章作成能力を身につけていただくため、入学までの期間を利用して「入学準備学習プログラム」を実施しております。この「入学準備学習」は、DVD や WEB での映像教材をもとに自宅で学習し、数回にわたって課題に対する小論文を提出して添削を受け、文章作成能力の向上を目指すものです。

大学では高校までの学習に比べて、授業における課題レポートの作成や試験答案の作成など文章を書く機会が非常に多くなります。一定のレベルで文章を作成する能力は、こうした大学での学修に不可欠であるばかりでなく、将来の就職対策としても大変重要なものです。

合格者の皆様には、より充実した大学生活を送るために、入学前の学習に取り組まれますようお願いいたします。なお、取組状況につきましては、出身高校へフィードバックを行う予定です。

プログラムについて

● スケジュール

	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期
入試区分	アクティブ・ラーニング入試 自己推薦入試（前期）	指定校推薦入試 強化クラブスポーツ 推薦入試（前期）	強化クラブスポーツ 推薦入試（中期）
合格発表	11/ 1（日）	12/ 1（火）	12/18（金）
受講生情報登録締切	11/15（日）	12/15（火）	12/26（土）
教材発送予定日※1	11/27（金）	12/28（月）	1/12（火）
学習開始	12/ 2（水）	1/ 4（月）	1/17（日）
登録 QR※2			

※1　住所の入力は、教材を受け取ることができる住所をご入力ください。
　　受け取ることができない場合、転送手続きを行うため再発送まで時間を要します。

※2　3 ページの「受講生情報登録・受講料入金の手順について」を確認しながら、期日までに登録・入金してください。QR の読み間違いによる期区分の変更はできません。正しく登録できているかご確認ください。

● 課題内容に関するお問い合わせ先

株式会社ナガセ（東進ハイスクール）入学前教育センター

QR・URL からチャットボットにてお問い合わせください。
https://app.chatplus.jp/chat/visitor/785dcdc6_1?t=btn

■通信添削講座　カリキュラム（全 10 講）
「国語標準（要約編）」

90 分の映像授業（10 回）と小論文添削課題（2 回）で構成されています。添削された答案が返却されますので、そこで受けた指摘をしっかりと読み、大学生としてふさわしい文章力を身につけてください。

#01	情報時代の要約術	#06	一つのテーマに関する複数の新聞を読み比べる（新聞社説要約）
#02	論理的に考えるということ	#07	「聞くこと」と「聴くこと」（聴き取り要約）
#03	複眼的に思考するための読書	#08	常識を批判する力を養う（表・グラフ要約）
#04	彼（女）が書くもう一人の自分【小論文添削課題 1】	#09	働くことの一番底にあるもの【小論文添削課題 2】
#05	むずかしい本を読む方法（文章要約）	#10	コミュニケーションのための要約力

■推薦図書リスト

1. 『なぜ私はこの仕事を選んだのか』岩波書店編集部編、岩波ジュニア新書、2001 年
2. 『旅に出よう－世界にはいろんな生き方があふれている』近藤雄生、岩波ジュニア新書、2010 年
3. 『おとなの教養－私たちはどこから来て、どこへ行くのか』池上彰、NHK 出版新書、2014 年
4. 『伝えるための教科書』川井龍介、岩波ジュニア新書、2015 年
5. 『キヨミズ准教授の法学入門』木村草太、星海社新書、2012 年

■読書のすすめ

読書は、自分が社会で生きていくために必要な知識や表現力や感性を豊かにしてくれます。作者が読者に伝えたいことをしっかり読み取り、自分の考えをまとめ、他者に伝える過程を踏むことによって、ものごとの理解力を養うことができ、また、ものの見方が広がってきます。

大学での学修により専門的な知見を蓄えて、社会に出て活躍するためには、想像力、感動力も身につけることが大切です。入学準備学習プログラムに取り組むとともに、ぜひ、読書の習慣をつけて下さい。

これから入学前の数か月間のゆとりのある時間を使って、上にあげた推薦図書のいくつかを読み、読後感想文を書いてみて、身近な人に聞いてもらう、見てもらう機会を作られることをお願いいたします。

なお、４月はじめに、法学部全入学者には法学部の入学時指導として、『全世界史　下』（出口治明、新潮文庫、2018 年）を読んで本学のネット上の問題「法律学と歴史」に解答していただきます。皆さんが法学部で学ぶ「法律学」は、近代以降に発達してきたものです。そのため、法律学の学修には、近代以降の世界の歴史を理解することが不可欠であると考えています。

外国語学部　入学準備学習プログラム

外国語学部では、皆さんが、大学入学後の学習、特に英語を使う学習をより効果的に進めることができるように、入学までの期間を利用して、「入学準備学習プログラム」を実施しています。日本国内でも、海外でも、英語を実践的に用いるときに重要となるのは、外国語習得の前提となるコミュニケーション能力です。コミュニケーション能力を伸ばすには、自分と他者を客観的に観察し、また他者を深く理解し、その中で自分を成長させていくことが鍵となります。このプログラムで、そういった基本的な能力をしっかり身につけてくださることを期待しています。ぜひ積極的にこのプログラムに取り組んで下さい。

またこの「入学準備学習プログラム」に取り組むと同時に、高等学校では卒業までしっかり授業を受けて、大学入学後も、毎日英語の練習が持続できるように準備してください。英語が自由に使えるようになると、世界が広がります。そのためには、大学入学後も毎日規則的な生活や学習を維持できることが、大学４年間の豊かな実りにつながります。

外国語学部は、皆さんのご入学を楽しみにしております。ぜひ在学中に世界に羽ばたく大きな翼を身につけてください。

プログラムについて

● スケジュール

	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期
入試区分	アクティブ・ラーニング入試 グローバル人材入試 自己推薦入試（前期）	指定校推薦入試 強化クラブスポーツ 推薦入試（前期）	強化クラブスポーツ 推薦入試（中期）
合格発表	11/ 1（日）	12/ 1（火）	12/18（金）
受講生情報登録締切	11/15（日）	12/15（火）	12/26（土）
教材発送予定日※1	11/27（金）	12/28（月）	1/12（火）
学習開始	12/ 2（水）	1/ 4（月）	1/17（日）
登録 QR※2			

※1　住所の入力は、教材を受け取ることができる住所をご入力ください。
受け取ることができない場合、転送手続きを行うため再発送まで時間を要します。

※2　3ページの「受講生情報登録・受講料入金の手順について」を確認しながら、期日までに登録・入金してください。QR の読み間違いによる期区分の変更はできません。正しく登録できているかご確認ください。

● 課題内容に関するお問い合わせ先

株式会社ナガセ（東進ハイスクール）入学前教育センター

QR・URL からチャットボットにてお問い合わせください。

https://app.chatplus.jp/chat/visitor/785dcdc6_1?t=btn

■通信添削講座　カリキュラム（全 10 講）
「コミュニケーション力養成①」

入学準備学習プログラムとして外国語学部が用意しているのは「コミュニケーション力養成①」です。この講座は 10 回の講義から構成されます。本講座では、（１）他者理解、（２）自己の客観的把握、の 2 点を土台として、社会人としてふさわしいコミュニケーション力の修得に取り組みます。性格診断テストも活用した自己 PR など、ユニークなプログラムとなります。またこのプログラムの中には 2 回の文書添削が含まれています。テーマは「お世話になった方へお礼の手紙を書く」「自己分析・自己 PR の作成」です。この課題は添削されて返却されますので、その際にはぜひ丁寧に見返して自分の文章のどこを修正すべきかなどを確認しておいてください。一定のまとまった文章を書くことは、日本語であれ、外国語であれ、非常に重要な能力です。この機会に「（まとまった）文章を書く」ことに取り組んでください。

これから大学に入学するまでの期間でどれだけきちんと学習したかが大切です。映像授業をくり返し見直しましょう。

#01	コミュニケーションとは？	#06	コミュニケーションの実践（2）
#02	コミュニケーションのベースをつくる	#07	コミュニケーションの実践（3）
#03	さまざまなコミュニケーション	#08	パーソナリティとコミュニケーション
#04	コミュニケーションツール 【小論文添削課題１】	#09	コミュニケーションのための PR 【小論文添削課題２】
#05	コミュニケーションの実践（1）	#10	コミュニケーションの実践（4）

■推薦図書リスト

1. 『外国語学習に成功する人、しない人―第二言語習得論への招待』白井恭弘、岩波科学ライブラリー、2004 年
2. 『外国語学習の科学－第二言語習得論とは何か』白井恭弘、岩波新書、2008 年
3. 『言語学が好きになる本』町田健、研究社、1999 年
4. 『ワインズバーグ、オハイオ』S. アンダーソン、上岡伸雄（翻訳）、新潮文庫、2018 年
5. 『オリヴァー・ツイスト』C. ディケンズ、加賀山卓朗（翻訳）、新潮文庫、2017 年
6. 『観光学入門―ポスト・マス・ツーリズムの観光学』岡本伸之（編集）、有斐閣アルマ、 2001 年

推薦図書リストは、英語や外国語学習、言語学、さらにアメリカ文学、イギリス文学の小説、観光学などから取り上げました。どれも学校や地域の図書館などで見つけることができます。また本屋さんに注文して買ってみてもいいでしょう。

本を読むということは、自分の創造力を広げることにつながります。自分が知らなかったことや直接経験できないことを手に入れることができるのです。もちろん現在では、知りたいことは、皆さんのパソコンやスマホでその場でわかります。しかし、本をじっくり読むことによって、知りたい情報だけでなくそこにたどり着くまでの道筋も併せて手に入れることができます。大学に入学するまでに、「本を読む」こと（もしできれば「本をたくさん読む」こと）を経験してきてください。

国際文化学部　入学準備学習プログラム

国際文化学部では早期に入学が決定した皆さんに対して「入学準備学習プログラム」を用意し、学習への積極的な参加をお勧めしています。このプログラムは、国際文化学部に入学するまでの貴重な時間を活用して、この学部で学習するための基礎的な能力や学習に取り組む姿勢などを養うことを目的としています。国際文化という言葉は近年では身近なものになりつつありますが、実際にどのような学習をし、それが将来的にどのような役に立つのか、あるいはどのような進路につながっていくのかということについては、あまり知られてはいません。

国際文化学部は国際理解、国際交流、国際協力、国際支援というさまざまな段階で、皆さん自身が世界の多くの人々とつながりを持ち、皆さん自身の生活の領域を広げていくことを目的として開設されました。そのような交流を実際に進めていく上で大切なことは、いろいろな意味でのコミュニケーション能力を高めるということです。あなたがこれから初めて出会う、知らない世界の、言葉も通じないような場面で、相手とコミュニケーションを円滑に行うためには、にっこり笑うということも大切でしょうが、何よりも意味のある言葉の連鎖ややりとりが必要になります。私たちが言語を学習する重要な意味はそこにあるのです。世界には多くの言語があり、世界は言語的に分断されています。しかし、国際共通語としての英語を中心とした言語を学習することで、私たちは異なった文化や生活習慣を持つ人々と、対話し、仲良くなることができるのです。

そのために国際文化学部では英語と少なくともう一つの言語を学習することになりますが、もう一つ見逃されがちで、しかしとりわけ大切なことは、社会人としての「日本語能力」を高めるということです。日本語が話せるのは当たり前と思っている人が大半でしょうが、あなたは正しい日本語でコミュニケーションしているでしょうか？ 外国語学修がどれほど上達しても、それを正しい日本語で表現できなければ何の意味もありませんね。これまでの実力を検証しなおして、もうワンランク上の正確でわかりやすい表現方法を磨いてみましょう。

プログラムについて

● スケジュール

	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期
入試区分	アクティブ・ラーニング入試 グローバル人材入試 自己推薦入試（前期）	指定校推薦入試 強化クラブスポーツ 推薦入試（前期）	強化クラブスポーツ 推薦入試（中期）
合格発表	11/ 1（日）	12/ 1（火）	12/18（金）
受講生情報登録締切	11/15（日）	12/15（火）	12/26（土）
教材発送予定日※1	11/27（金）	12/28（月）	1/12（火）
学習開始	12/ 2（水）	1/ 4（月）	1/17（日）
登録 QR※2			

※1　住所の入力は、教材を受け取ることができる住所をご入力ください。
　　受け取ることができない場合、転送手続きを行うため再発送まで時間を要します。
※2　3ページの「受講生情報登録・受講料入金の手順について」を確認しながら、期日までに
　　登録・入金してください。QR の読み間違いによる期区分の変更はできません。正しく登録
　　できているかご確認ください。

● 課題内容に関するお問い合わせ先

株式会社ナガセ（東進ハイスクール）入学前教育センター

QR・URL からチャットボットにてお問い合わせください。

https://app.chatplus.jp/chat/visitor/785dcdc6_1?t=btn

■通信添削講座　カリキュラム（全 10 講）
「コミュニケーション力養成①」

この講座では 10 回にわたって、日本語と社会人としての大学生に求められるコミュニケーション力について、言葉の観点と心理的な観点の双方から理解します。テーマだけを見ると、何やらとても難しいことをするようにも見えますが、すでに皆さんが中学校、高等学校で身に付けてきたはずのものが基礎となっています。そういう意味では日本語能力と日本語を中心として対人関係の構築の総合的な復習ということにもなります。とはいえ、日本人だから、日本で長く生活してきたからというだけで、正しい日本語コミュニケーションの力が備わっているというわけではありません。どんなに日本語で話すことが得意という人でも、必ず落とし穴があり、また人とコミュニケーションをとることが苦手だという人にも「ちゃんと理解できている」というところが少なからずあるものです。この講座で、皆さんが自分では気づかない弱点や、やってみれば意外とできることなどを確かめながら、あなたのコミュニケーション能力を、もう一段高いところに引きあげていきましょう。国際文化学部を目指す皆さんは日本語を軽視しがちなのですが、正しい日本語能力が備わっていてこそ、はじめて外国語学修が活かされるのです。

#01	コミュニケーションとは？	#06	コミュニケーションの実践（2）
#02	コミュニケーションのベースをつくる	#07	コミュニケーションの実践（3）
#03	さまざまなコミュニケーション	#08	パーソナリティとコミュニケーション
#04	コミュニケーションツール 【小論文添削課題１】	#09	コミュニケーションのための PR 【小論文添削課題２】
#05	コミュニケーションの実践（1）	#10	コミュニケーションの実践（4）

■推薦図書リスト

1. 『この世界の問い方：普遍的な正義と資本主義の行方』大澤真幸、朝日選書、2022 年
2. 『映画で旅するイスラーム：知られざる世界へ』藤本高之・金子遊編、論創社、2018 年
3. 『国家と移民：外国人労働者と日本の未来』鳥井一平、集英社、2020 年
4. 『国際協力と想像力：イメージと「現場」のせめぎ合い』松本悟・佐藤仁編、日本評論社、2021 年
5. 『海外メディアは見た 不思議の国ニッポン』クーリエ・ジャポン編、講談社現代新書、2022 年
6. 『異文化コミュニケーション学』鳥飼玖美子、岩波新書、2021 年
7. 『新しい世界史へ－地球市民のための構想－』羽田正、岩波新書、2011 年

最近の情報社会では、知りたいことは何でもパソコンやスマホを活用することで手に入れることができるようです。しかし、知りたい世界をさらに広げるためには未知の領域に踏み込んでいく必要があります。そのための方法の一つが本を読むということです。本は知識の宝庫でもありますが、生きるための知恵や方法に気づくための大切な情報源でもあります。国際文化学部では、とても広い学問分野と世界中の人々との交流を対象とした学びの世界が広がります。皆さんはその中で、あなただけの独自の世界を創造してください。そのために、まず本を読むことから始めましょう。教員お薦めの本を、一読してみてください。

スポーツ健康学部　入学準備学習プログラム

「入学準備学習プログラム」を入学までの期間で実施することにより、大学での学びに必要とされる基礎的な文章読解力・作文力を身につけてください。この「入学準備学習プログラム」は、映像教材を使って自宅で学習し、課題を提出して添削を受けることで確かな学びとなるものです。

高校までの学びに比べて、大学では、幅広く多くの情報を読み取り、整理する能力が必要となります。例えば、より高度なスポーツの実践力や健康の実現力を身に着けるために必要な情報は世の中にあふれており、その中から確かなもの、自分に必要なものを読み取り、整理する力が必要になります。それは、最終的には社会で貢献するためのコーチング力(スポーツコーチとは限りません)につながります。そのような力を身につけるためには、繰り返しになりますが読解力・作文力を駆使して考えをまとめる力が必要不可欠となります。

合格者の皆様におかれましては、より充実した大学生活を送るためにも、自分自身の将来のためにも、着実に入学準備学習に取り組むようお願いいたします。

プログラムについて

スケジュール

	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期
入試区分	アクティブ・ラーニング入試 自己推薦入試（前期）	指定校推薦入試 強化クラブスポーツ 推薦入試（前期）	強化クラブスポーツ 推薦入試（中期）
合格発表	11/ 1（日）	12/ 1（火）	12/18（金）
受講生情報登録締切	11/15（日）	12/15（火）	12/26（土）
教材発送予定日※1	11/27（金）	12/28（月）	1/12（火）
学習開始	12/ 2（水）	1/ 4（月）	1/17（日）
登録 QR※2			

※1　住所の入力は、教材を受け取ることができる住所をご入力ください。
　　受け取ることができない場合、転送手続きを行うため再発送まで時間を要します。

※2　3 ページの「受講生情報登録・受講料入金の手順について」を確認しながら、期日までに登録・入金してください。QR の読み間違いによる期区分の変更はできません。正しく登録できているかご確認ください。

課題内容に関するお問い合わせ先

株式会社ナガセ（東進ハイスクール）入学前教育センター

QR・URL からチャットボットにてお問い合わせください。
https://app.chatplus.jp/chat/visitor/785dcdc6_1?t=btn

■通信添削講座　カリキュラム（全 10 講）

「大学生の学び方講座」（ベーシック国語②・国語標準ミックス）

90 分の映像授業（10 回）と課題提出（10 回、うち小論文添削課題２回）で構成されています。

※「ベーシック国語②」「国語標準（要約編）」という２つの教材から、本学部が指定した下記の 10 単元の課題に取り組みます。さらに、指定していない単元の授業も視聴することができますので、教材に含まれるすべての授業を積極的に自習し、大学での学びの準備をしていただけることを期待しています。

#01	デジタル時代にふさわしい 言葉力をつける	#06	情報時代の要約術
#02	ことばを自分のものにする	#07	複眼的に思考するための読書
#03	社会を見つめる目をもつ ～新聞の読み方	#08	むずかしい本を読む方法 （文章要約）
#04	将来の夢について考える 【小論文添削課題１】	#09	常識を批判する力を養う （表・グラフ要約）
#05	作文とレポート	#10	働くことの一番底にあるもの 【小論文添削課題２】

■推薦図書リスト

1. 『スポーツ科学の教科書』谷本道哉、岩波ジュニア新書、2011 年
2. 『スポーツ教養入門』高峰修、岩波ジュニア新書、2010 年
3. ハリー・ポッターと賢者の石、ゆうこまつおか(翻訳)、Pottermore Publishing、2015 年
4. 『人を動かす』D.カーネギー、山口 博(訳)、創元社、2025 年
5. 『成功する練習の法則』ダグ・レモフ、依田卓巳(訳)、2013 年
6. 『バカの壁』養老孟司、新潮新書、2003 年

興味があることや疑問に思ったことを、とりあえずスマホや生成 AI を使って分かった気になることが多い時代です。確かに便利な世の中です。しかしそのような時代・社会であるからこそ、「本」という「知」に目を向けることが重要になります。これまであまり読書の経験がない人や、なんとなく苦手意識のある人は、先ず新聞や雑誌等の紙媒体の中で、少しでも興味のあることに目を向けて文章を読んでみてはどうでしょうか。また機会を見つけて学校の図書館や街中の書店に立ち寄り、本を手に取ってみてはどうでしょう。

本の内容を理解し、心を動かし、著作者の思いを想像する等、「本に埋没する体験」はスポーツや遊びに埋没する体験と同様に、あなたの可能性を必ずや広げてくれます。本を読み、脳を鍛えることは、コーチや教員としての人間性を育む上で欠かせないトレーニングです。

リハビリテーション学部　入学準備学習プログラム

リハビリテーション学部では、早期に入学が決まった皆さんを対象に「入学準備学習プログラム」を実施しています。入学後の学習にスムーズに移行できるように、必要な基礎学力を身に付けることが目的です。

プログラムでは、映像教材とテキストを用いて自宅学習を行い、毎回課題を提出して添削を受けます。

皆さんが入学後に学ぶ理学療法学やリハビリテーション医学では、膨大な医学的知識が必要となります。そのためには、自ら計画を立て、能動的に課題に取り組む姿勢が欠かせません。本プログラムは、このような姿勢を養うことも目的としています。

大学での学びはもちろん、将来のキャリアにもつながる力を、このプログラムで磨いていきましょう。

プログラムについて

● スケジュール

	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期
入試区分	アクティブ・ラーニング入試	指定校推薦入試	Ⅰ期・Ⅱ期未申込者対応用
合格発表	11/ 1（日）	12/ 1（火）	-
受講生情報登録締切	11/15（日）	12/15（火）	12/26（土）
教材発送予定日※1	11/27（金）	12/28（月）	1/12（火）
学習開始	12/ 2（水）	1/ 4（月）	1/17（日）
登録 QR※2			

※1　住所の入力は、教材を受け取ることができる住所をご入力ください。
　　受け取ることができない場合、転送手続きを行うため再発送まで時間を要します。

※2　3 ページの「受講生情報登録・受講料入金の手順について」を確認しながら、期日までに登録・入金してください。QR の読み間違いによる期区分の変更はできません。正しく登録できているかご確認ください。

● 課題内容に関するお問い合わせ先

株式会社ナガセ（東進ハイスクール）入学前教育センター

QR・URL からチャットボットにてお問い合わせください。
https://app.chatplus.jp/chat/visitor/785dcdc6_1?t=btn

■通信添削講座　カリキュラム（全 12 講）
「国語力入門（医療編）」「リハビリテーション基礎物理」「医療系生物入門」

本プログラムの内容は「国語力入門（医療編）」「リハビリテーション基礎物理」「医療系生物入門」の 3 つです。「国語力入門（医療編）」では、医療現場で必要となる文章の読解力や表現力、データやグラフを正しく読み取る力を身に付けます。「リハビリテーション基礎物理」と「医療系生物入門」では、高校で学習した物理・生物の基礎知識を整理するとともに、入学後に学ぶ生理学・解剖学などの基礎医学、運動学・物理療法学などの理学療法専門科目を理解するために必要となる知識を身に付けます。

さらに、以下にあげる推薦図書の中からいくつかを選び、ぜひ読んでみてください。生命科学の不思議さやおもしろさ、病と向き合う人の生きる姿に触れることができます。皆さんがこれから歩んでいく世界の一端を知る、よい機会にもなるはずです。

#01	適切な表現を身につける 【国語力入門（医療編）】	#07	モーメントのつりあい 【リハビリテーション基礎物理】
#02	グラフの読み取り 【国語力入門（医療編）】	#08	細胞と人体の組織 ～細胞の構造・細胞膜・ヒトの組織・器官～ 【医療系生物入門】
#03	力の種類と図示 【リハビリテーション基礎物理】	#09	生殖　～体細胞分裂・生殖～ 【医療系生物入門】
#04	速度・加速度・等加速度直線運動 【リハビリテーション基礎物理】	#10	発生と遺伝／人体の器官（Ⅰ） ～脊つい動物の発生・性染色体・受容器～ 【医療系生物入門】
#05	力のつりあい 【リハビリテーション基礎物理】	#11	代謝 ～呼吸と発酵・エネルギー産生・呼吸商～ 【医療系生物入門】
#06	運動量 【リハビリテーション基礎物理】	#12	遺伝子発現 ～DNA の構造・複製・遺伝子の転写・翻訳～ 【医療系生物入門】

■推薦図書リスト（出版年順）

1. 『脳から見たリハビリ治療』久保田競・宮井一郎、ブルーバックス、2005 年
2. 『こんな夜更けにバナナかよ　筋ジス・鹿野靖明とボランティアたち』渡辺一史、文春文庫、2013 年
3. 『認知症世界の歩き方』筧裕介、ライツ社、2021 年
4. 『未来の医療で働くあなたへ』奥真也、河出書房新社、2021 年
5. 『夢を叶えるために脳はある　「私という現象」、高校生と脳を語り尽くす』池谷裕二、講談社、2024 年
6. 『ピンチに備える解剖学』 村上徹、ちくまプリマー新書、2025 年
7. 『17 歳のきみへ　人生で大事なことは、目には見えない』鎌田實、集英社、2025 年
8. 『アルジャーノンに花束を(新装版)』ダニエル・キイス、ハヤカワ文庫 NV 、2026(1978)年

入学準備学習プログラム受講者の声

https://www.ngu.jp/campuslife/learning-support/preparation/

名古屋学院大学 入学準備学習プログラム　検索



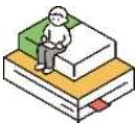
申込・入金・課題等に関するお問い合わせ先

㈱ナガセ（東進ハイスクール）
入学前教育センター

☎ 0570-052888（受付：平日 11 時 00 分～19 時 00 分）

※QR・URL からチャットボットにてお問い合わせください。
https://app.chatplus.jp/chat/visitor/785dcdc6_l?t=btn

上記以外のお問い合わせ先・注意事項



名古屋学院大学
教務課

☎ 052－678－4087（受付：平日 8 時 45 分～16 時 45 分）
✉ kyoumuka@ngu.ac.jp

※受講及び課題への取り組み状況等は、株式会社ナガセより本学に開示・報告されますので、予めご了承ください。